まはげ」の関わりをテーマに 江真澄(1754~1829 年)と男鹿市の民俗行事「な 江戸時代後期の紀行家・菅 前身の旧制米子中時代に一歌詞の披露が実現した。 の足跡、どう活 なまはげとの関係議論 圏文化会議」など6団体が主 野荘平会長は「真澄が記した 男鹿の寒風』が、 男鹿市菅江真澄研究会の天 約160人が参加した。 最も古い 内 で示し、 図録や雑誌、 近代以降のなまはげに関する た」と述べた。 残してくれたことに感動し を知った真澄が詳細な記録を たり秋田を歩き、秋田の文化 利香津代さんは「28年間にわ 強調。秋田市出身の女優・浅 人文地理学、 関西学院大の八木康幸教授 (国文学、民俗学)と 芸大の石井正己教授 程を説明した。 素が強まっていく過 なまはげの観光的要 このほか、東京学 新聞をスライド 民俗学)は、

となった。

松原さんが通う米子東高

を知る大会関係者の尽力で、

21回大会へ出場。歌詞の存在

なまはげの図絵とされる。

後も掘り下げていきたい」と

高めようと、本県出身者らで される国民文化祭への機運を 録を現代に生かす方策を探っ 見を交わし、真澄が約200 究者や本県出身著名人らが意 年前に残した文化や習俗の記 クワール麹町で開かれた。 が13日、東京都千代田区のス したパネルディスカッション 来年10~11月に本県で開催

人) とお会いできたの を務めていた塩ハマ子

> 菅江真澄となまはげの関わりをテ マにしたパネルディスカッション

> > りになる」と指摘し 見する大きな手掛か

(斉藤賢太郎)

も精神的にも、 にとって、経済的に ことは秋田県の人々

足元

の世界の価値を再発

れ講演。石井教授は 化」と題し、それ

真澄の書物を読む

江真澄と秋田の文 西木正明さんが「菅 仙北市出身の作家・

月、国立婦人教育会館

子さん(左)

と二昭和

育のリーダーであった

つくる「秋田を応援する首都

第29回国民文化祭・ あきた 2014

秋田の文化を探り、国民文化祭へ

菅江真澄とナマハケ

7.13 講演とフォーラムの集い

演『菅江真澄と秋田文化』 フォーラム『菅江真澄とナマハゲ』

秋田に魅せられた江戸時代の紀行家が あのナマハゲを 200 年前に記録していた。 そして秋田の文化・地誌を……。 2014年国文祭を迎える今、 あらためて考える、旅に出る……。

と き 2013年7月13日(土) 13 時半開会~17 時

ところ スクワール麹町 (JR 四谷駅前) Tel 03(3234)8739

参加費 会場・資料代など 2000円 (裏面プログラム参照)

秋田を応援する首都圏文化会議 首都圏男鹿の会 東京菅江直澄会 男鹿市菅江真澄研究会 菅江真澄全国フォーラム実行委員会 秋田県東京事務所





菅江真澄肖像画 (秋田県立博物館蔵)

菅江真澄 本名、白井秀雄。幼名、英二。知之(ともゆき)、白超とも名 乗った。江戸時代後期の紀行家、博物学者。宝暦4年(1754年)三河国、 現在の豊橋市か岡崎市付近の出身といわれる。

30歳で故郷を出発。信濃、越後、庄内、秋田、津軽、南部、仙台、蝦夷地 などを巡り、土地の民俗、歴史、地理、国文学、詩歌、考古、宗教などを日 記、地誌、随筆、図絵集として記録。「菅江真澄遊覧記」と総称される。 この中で自筆本89冊が、重要文化財に指定されている。

秋田には48歳の時から移り住み、現在の秋田県内をくまなく歩き、 記された著作はその時代の民俗風習を知る上で、貴重な資料となって いる。

仙北で亡くなり、秋田市寺内に墓所がある。

切7月10日メド、当日参加可 参加いた 13 \square

菅江真澄とナマハゲ

秋田の文化を探り、国民文化祭へ

7.13 講演とフォーラムの集い

第 29 回国民文化祭・ あきた 2014 応援事業



2014年10日4日~11日3

とき 2013年7月13日(土)13時半開会~17時

ところ スクワール麹町 (JR 四谷駅前) Tel 03(3234)8739

参加費 会場・資料代など 2000円

プログラム 13:30 映像での"菅江真澄と男鹿五風"ビデオ上映 <2012 全国菅江真澄男鹿大会など>

14:00 開会

14:10 記念講演 『菅江真澄と秋田文化』

◎石井正己 (東京学芸大教授)

◎西木正明 (作家)

15:10 真澄のナマハゲ "男鹿の寒風" 再現

(男鹿市菅江真澄研究会メンバー)

15:30 フォーラム『菅江真澄とナマハゲ』

八木 康幸 (関西学院大教授)

浅利香津代 (女優)

天野 荘平 (男鹿市菅江真澄研究会会長)

秋田からのパネラー 『秋田元気ムラ』からも。

コーディネーター 石井正己、西木正明

16:50 〈第 29 回国民文化祭・あきた 2014〉の呼びかけなど

17:00 閉会(終了後、希望者懇親・交流会)





FAX・メール返送先

首都圈:048-824-5626 (FAX 秋田文化会議)

chi-bi-1123-fuyo@khc.biglobe.ne.jp

秋 田:018-873-5745 (FAX 男鹿市菅江真澄研究会)

souhei11@xpost.plala.or.jp

(7.13管江真澄とナマハゲ・講演とフォーラムの集い)

代 表 西木正明

(作家・第29回国民文化祭・あきた2014総合プロデューサー)

協力 浅利香津代、橋本五郎、内館牧子(秋田文化会議)/高久浩二(首都圏秋田県人会連合会)/高橋実(在京秋田県高校同窓会連合会)/澤木誠一(首都圏秋田懇話会)/小野鉄雄(首都圏男鹿の会)/三平俊悦(秋田ふるさと応援団)/田口昌樹(菅江真澄研究会)/佐々木計三(東京菅江真澄会)/天野荘平(男鹿市菅江真澄研究会)/安田止雄(はたはた会)わか杉会(佐々木千鶴子)/石井正己(東京学芸大教授)/宮川豊(首都圏秋田応援団)/簾内貴就(WE LOVE AKITA)/松渕得雅(ゼロダテアートセンター東京)/樋口恭平(秋田魂心会)/金谷さおり(「あきたのかお」)/百瀬和(和装美女連)/武田昌大(トラ男)/熊地康清(秋田「さねばね会」)/門脇成英(おーる秋田・東京ふるさと館)/明石直樹(秋田県東京事務所)/小野一彦(秋田元気ムラ支援室)

(2013年5月23日現在・予定含み 協力団体募集中)

連絡先 秋田文化会議(武内 090-2173-2591) 首都圏男鹿の会(小野 090-6566-7936)

東京菅江真澄会(佐々木 090-3001-4470)

男鹿市菅江真澄研究会(天野 090-4882-0262)

秋田県東京事務所(高島 03-5212-9115)

スクワール麹町

東京都千代田区麹町6丁目6番地 TEL 03-3234-8739 FAX 03-3234-8737 JR 中央線四谷駅・麹町口徒歩1分

